

拝啓 今年も早や5月下旬となりました。お変わりございませんか。いつもエンカウンターをお読み頂きありがとうございます。新緑から深緑の頃となり、近所の公園ではヤマボウシが、白い花びらを青空に向けて咲いております。又我が家では、軒下まで伸びたスイトピーが満開になりました。

今月は、石館守三先生の文章の8回目です。同志会OBの村上劉治さんが編纂された資料「石館守三先生金曜会語録」からの引き続きの引用です。

石館守三先生が高円寺東教会で話された証言のCDロムも聞いていますが、昭和45年11月8日の第40巻B「キリスト者の生活と態度」(ピリピ書第4章4-20節)には、特に感銘を受けました。つぎのように述べておられます。

- ・この世の道德、真実、尊ぶべきこと、正しいこと、純真、愛、誉、徳、称賛、それらを心にとめよ。この世のこと…美しいこと、清いことは神から出たものである。正しいことは昔から存在する。日本にも儒教、仏教を通して存在する。
- ・私から学んだこと、受けたこと、聞いたこと、見たことを実行せよ。
- ・どんな境遇にあっても足ることを学んだ。貧、富、飽くこと、飢えること。キリスト者は足ることを知っている。昔から、日本の道德にもある。
- ・神は栄えのなかからそういう人に報いる。およそ、真実、正しいことを尊べ。それは神から出ている。

5月6日から、マレーシアの女子高校生のプテラさんを、来年2月まで、我が家にホームステイで預かっています。我が家から、茗荷谷のお茶の水女子高校に2年生として通学しています。プテラさんが来たおかげで我が家の生活時間がすっかり変わりました、5:40朝食、6:00出発、夕方は7:00頃夕食と決まって、その他の生活時間もそれを基準に動きます。その他にも、プテラさんを受け入れたことは、我が家にとって大変良い結果をもたらしてくれました。

5月23日は、私が属している東京港番傘川柳の会の50周年記念大会が、東京品川区大井町の会場でありました。私はそこでアトラクション「ピアノ演奏とみんなで歌いましょう」の司会をし、ピアノ演奏を、私の英会話のクラスメートの村上雅子さんにお願ひしました。モーツァルトの「トルコ行進曲」、シューベルトの「鱒」、チャイコフスキーの「花のワルツ」を弾いて頂きました。特に「鱒」は、ピアノ5重奏「鱒」の楽譜を、村上さんが自分でピアノ用に編曲した楽譜で演奏してくれましたが、すばらしい演奏で、大喝采でした。

それでは、皆様、これから梅雨に向かう時候となります。どうかお身体ご自愛の程、祈り申し上げます。

敬具

平成26年5月25日

山口周三

エンカウンターのご読者各位